

# 第4次伊野地区福祉活動計画

(令和5年度～令和9年度)

～ 支えあい 心かよわす 伊野の郷 ～



伊野地区社会福祉協議会



## はじめに

地区の皆様には、日頃から社会福祉事業の推進につきまして格別のご理解とご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

この数年間は、新型コロナウイルス感染症への対応に明け暮れた日々が続きました。新型コロナウイルスは、2019年12月に中国で初めて感染者が報告され、翌月日本でも1例目の感染者が報告されています。その後、感染者の増加が続きオリンピックが延期されるなどかつて経験したことのない状況が続きました。地区においても体育祭や文化祭等多くの行事が中止されたり縮小されたりし、社協の事業である敬老会も実施することができない状況が続いています。一日も早く以前のような生活に戻り、地区住民がふれあうことができる機会が増えることを心から祈ります。

さて、この度伊野地区社会福祉協議会では、今後の地域福祉活動についてまとめた「第4次伊野地区福祉活動計画」を策定しました。人口減少や少子高齢化が進む中、伊野地区が元気で活力があり住みやすい地域となるように地域住民同士がしっかりと手を結び、地域全体で助け合い・支えあっていく仕組みづくりを目指して平成15年に第1次活動計画が作成されました。その後、第2次、第3次活動計画が作成され、時代にあった求められる活動となるよう更新されてきました。社協だよりの発行や福祉マップの作成など様々なことに取り組んできました。具体的な活動を大きく変えることは難しいですが、地区の皆様の声を聴き元気で活力があり住みやすい地域となるよう今後も努力して参ります。また、これを機に地域福祉について改めて考えるきっかけとなり、地区住民のつながりがさらに強固なものとなることを期待します。

おわりに、計画策定に当たり、アンケート調査等にご協力いただいた地区の皆様、策定委員の皆様並びに関係各位に心からお礼を申し上げます。

令和5年3月

伊野地区社会福祉協議会

会長 岩成正美

# 目 次

1. 伊野地区福祉活動計画策定にあたって .....	1
2. 地区の人口及び世帯数の推移 .....	1
3. アンケート調査の結果について .....	2
(1) アンケート調査の回答状況 .....	2
(2) アンケート結果 .....	2
4. 基本目標と具体計画 .....	1 4
5. 年次活動計画表 .....	1 5
6. 福祉活動計画策定の経過 .....	1 8
7. 福祉活動計画策定委員名簿 .....	1 8

## 1. 伊野地区福祉活動計画策定にあたって

社会福祉を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化、核家族化や単身高齢世帯の増加などの傾向が続くとともに、家庭や地域とのつながりの希薄化が懸念されるなど大きく変容してきています。誰もが住み慣れた地域で安心して快適に暮らすことができるように、公的な福祉サービスの充実が図られるとともに住民同士の助け合いや支え合いの基盤をつくっていくことが地域福祉の目的となります。

今回の計画は、平成 27 年に策定された第 3 次計画を踏まえ令和 5 年度から令和 9 年度までの 5 ヶ年計画を策定しました。

## 2. 地区の人口及び世帯数の推移

伊野地区の人口は、年々減少し高齢化も進んでいます。この傾向は、今後も続くものと推測されます。

◇人口及び世帯数（各年 3 月末現在）

	平成 22 年 (2010 年)	平成 27 年 (2015 年)	令和 2 年 (2020 年)	令和 4 年 (2022 年)
地区合計	1,461	1,360	1,259	1,216
地合町	232	213	192	192
野郷町	658	604	557	529
美野町	571	543	510	495
世帯数（戸）	434	425	416	420

◇65 歳以上人口・高齢化率

	平成 22 年		平成 27 年		令和 2 年		令和 4 年	
	人口	高齢化率	人口	高齢化率	人口	高齢化率	人口	高齢化率
地区合計	415	28.4%	420	30.9%	447	35.5%	461	37.9%
地合町	68	29.3%	55	25.8%	63	32.8%	67	34.9%
野郷町	194	29.5%	182	30.1%	200	35.9%	208	39.3%
美野町	153	26.8%	183	33.7%	184	36.1%	186	37.6%
出雲市	(平田)	26.8%		28.1%		29.8%		30.1%

◇14 歳以下人口・少子化率

	平成 22 年		平成 27 年		令和 2 年		令和 4 年	
	人口	少子化率	人口	少子化率	人口	少子化率	人口	少子化率
地区合計	133	9.1%	152	11.2%	129	10.2%	114	9.4%
地合町	19	8.2%	36	16.9%	23	12.0%	20	10.4%
野郷町	64	9.7%	60	9.9%	55	9.9%	50	9.5%
美野町	50	8.8%	56	10.3%	51	10.0%	44	8.9%
出雲市	(平田)	13.7%		13.9%		13.6%		13.6%

※平成 22 年は第 3 次計画から、平成 27 年以降は市の HP から

### 3. アンケート調査の結果について

#### (1) アンケート調査の回答状況

福祉活動計画を策定する基礎資料とするために、18歳以上の地区住民全てを対象に福祉に対する意識や暮らしや生活での悩み事等のアンケートを実施しました。

◇回答状況

配布数	回答数	回答率
948	778	82.1%

◇町別回答者数

地合町	野郷町	美野町	不明	合計
109	368	287	14	778

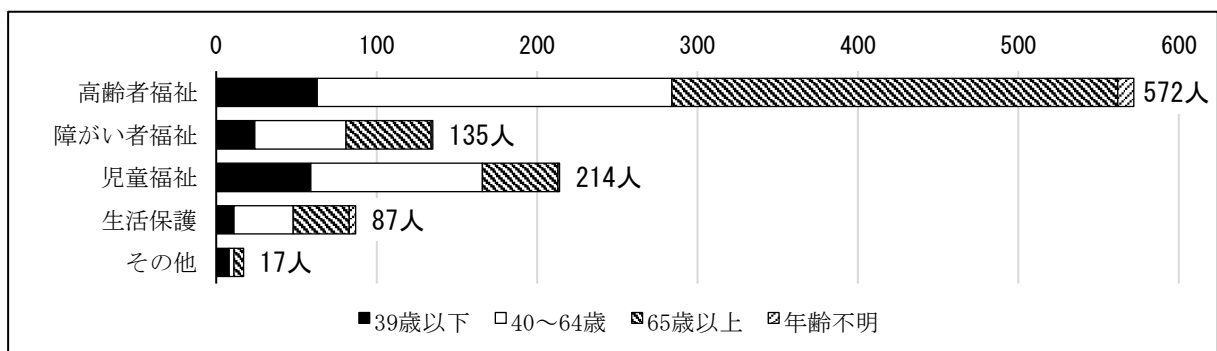
◇年代別・性別回答者数

	29歳以下	30歳代	40歳代	50～64歳	65～74歳	75歳以上	不明	合計
男	30	35	58	79	78	48	3	331
女	35	26	54	95	82	72	3	367
不明	1	5	9	12	20	26	7	80
計	66	66	121	186	180	146	13	778

#### (2) アンケート結果

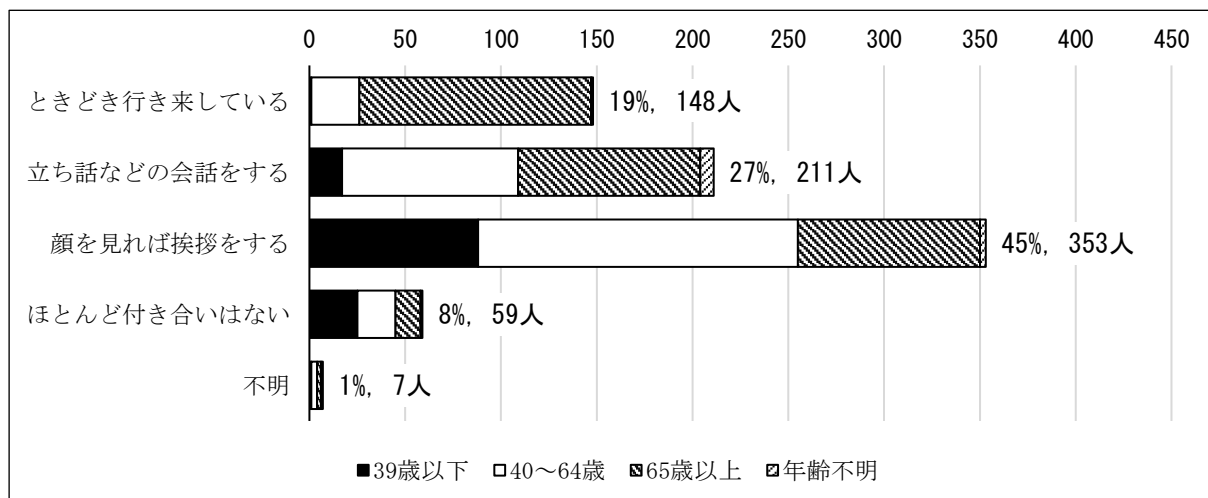
年代による考え方の違いを知るため、「39歳以下」・「40歳から64歳」・「65歳以上」の3つの年代ごとに集計してグラフを作成しています。

問1 福祉についてあなたの関心の高い分野は何ですか。(いくつでも)



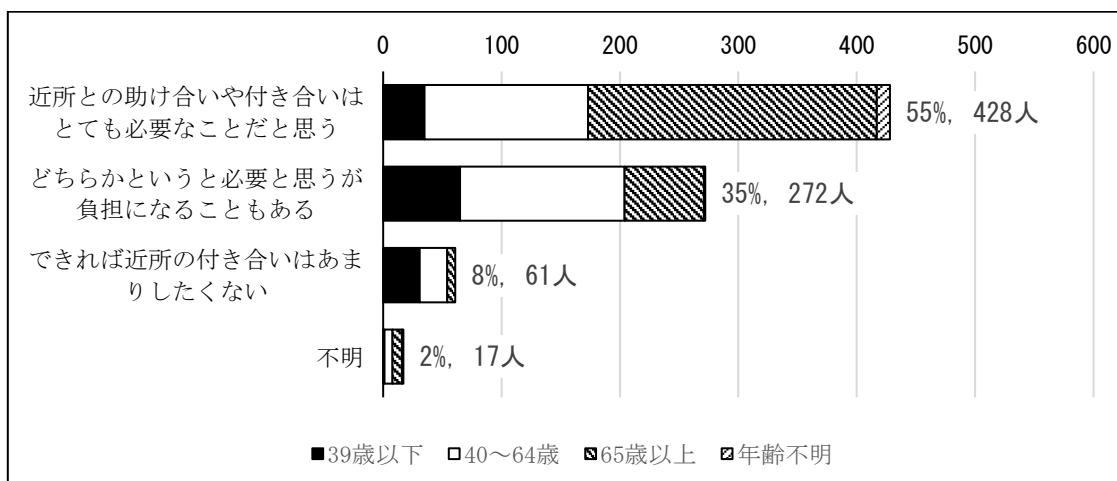
どの年代でも高齢者福祉への関心は高く、身近な課題として捉えられていると考えられます。若い世代では、高齢者福祉と同程度に児童福祉への関心が高くなっています。その他の回答の多くは、「(関心のある分野は) 特にない」というもので、他に「物価高」、「医療」といったものがありました。

問2 あなたは日頃、近所の方とどの程度関わりをもっておられますか。(いずれか1つ)



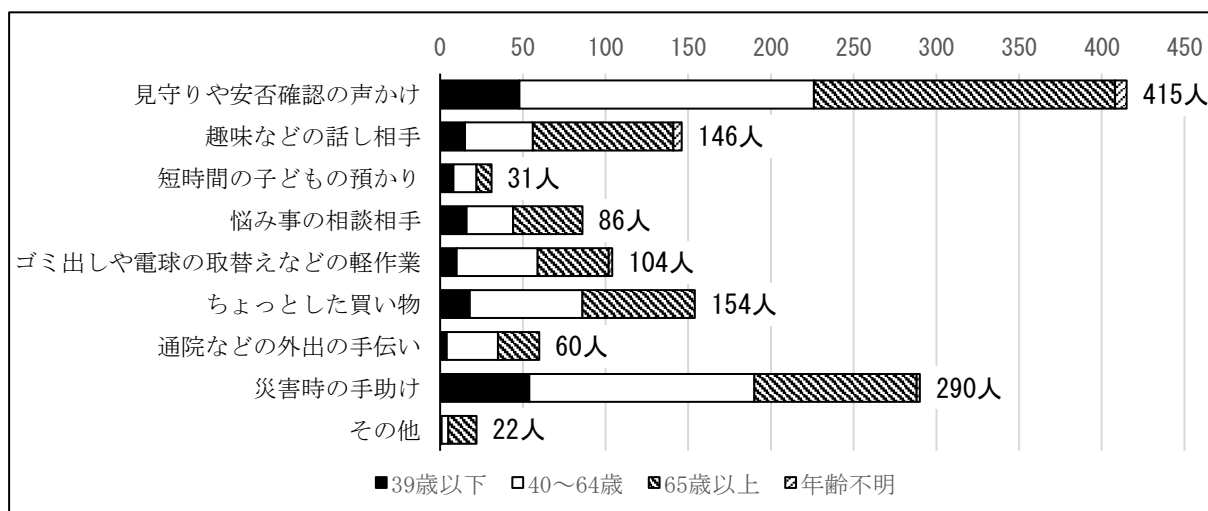
『ときどき行き来している』が全体では19%（148人）と低くなっていますが、65歳以上では4割近い方が近所への行き来をしておられます。但し、前回調査（調査対象者20歳以上）では全体で30%だったことから、近所へ行く機会が減ってきているようです。新型コロナウイルスの影響も大きいと思いますが、近所との付き合いが希薄になってきていることが危惧されます。

問3 近所との付き合いや助け合いについてどう思いますか。(いずれか1つ)



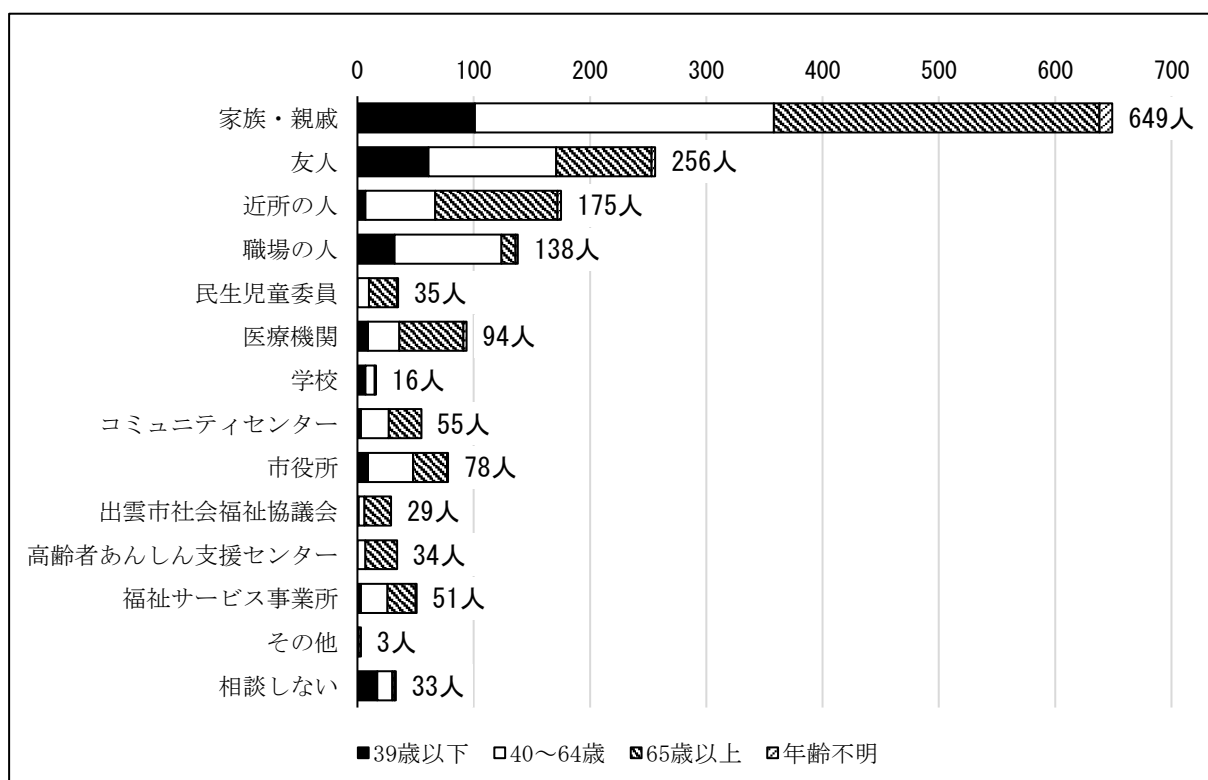
『近所との助け合いや付き合いはとても必要』、『必要と思うが負担になることもある』の合計（必要であると感じている方）が90%（700人）と高くなっています。但し、若い世代では『必要と思うが負担になることもある』（負担を感じている方）の割合が高くなっているのが気になります。

問4 【問3】で「1.近所との・・・」、「2.どちらかという・・・」と回答された方にお聞きします。近所に困っている方がいるとき、あなたがしてあげられることはどのようなことですか。(いくつでも)



『見守りや安否確認の声かけ』が最も多く、次いで『災害時の手助け』、『ちょっとした買い物』と続き、前回結果と全く同じ順番となりました。『その他』では、「おかげのおすそ分け」や「草刈」、また、「できることなら何でも」という意見もあり助け合いの精神が高いと感じました。

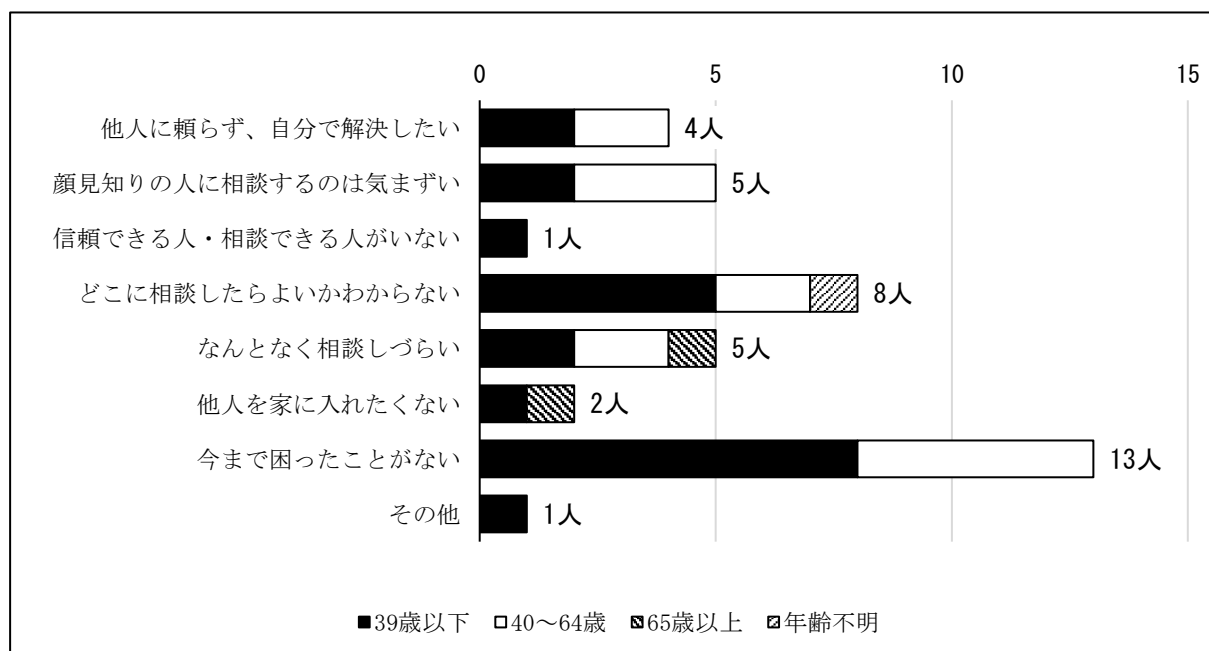
問5 あなたは暮らしや福祉のことで話をしたり、緊急のとき相談したりする方(機関)がありますか。(いくつでも)





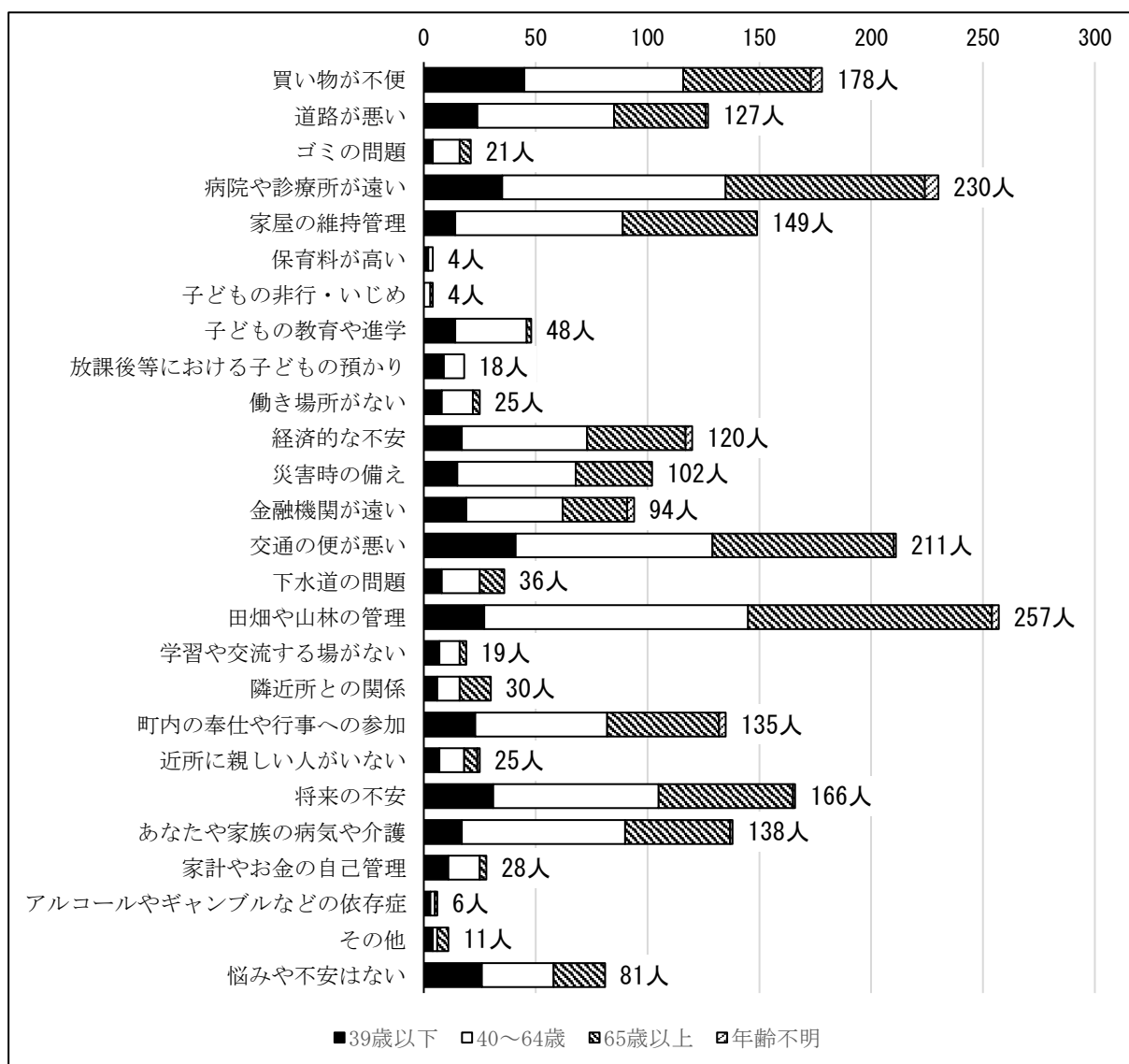
『家族・親戚』が 649 人と最も多く、全回答者数の 83%に当たります。このうち『家族・親戚』にのみ○をされた方が 204 人いらっしゃいました。この方々は親族以外の相談先は無いということになります。身近な人に相談することは大切なことですが、気軽に相談できる第三者や専門機関もあった方がいいでしょう。親族以外の相談先としては、年代によって異なりますが『友人』、『近所の人』、『職場の人』が多くなっています。

**問6 【問5】で「14.相談しない」と回答された方にお聞きします。なぜ相談しないのですか。(いくつでも)**



問5で『相談しない』と回答した 33 人の方にその理由を聞くと、『今まで困ったことがない』が 13 人と最も多くなりました。次が『どこに相談したらよいかわからない』となっています。今後も相談窓口の周知を図っていく必要があると考えます。

問7 現在、あなたの暮らしの中でお困りのことや悩みごとがありますか。(いくつでも)



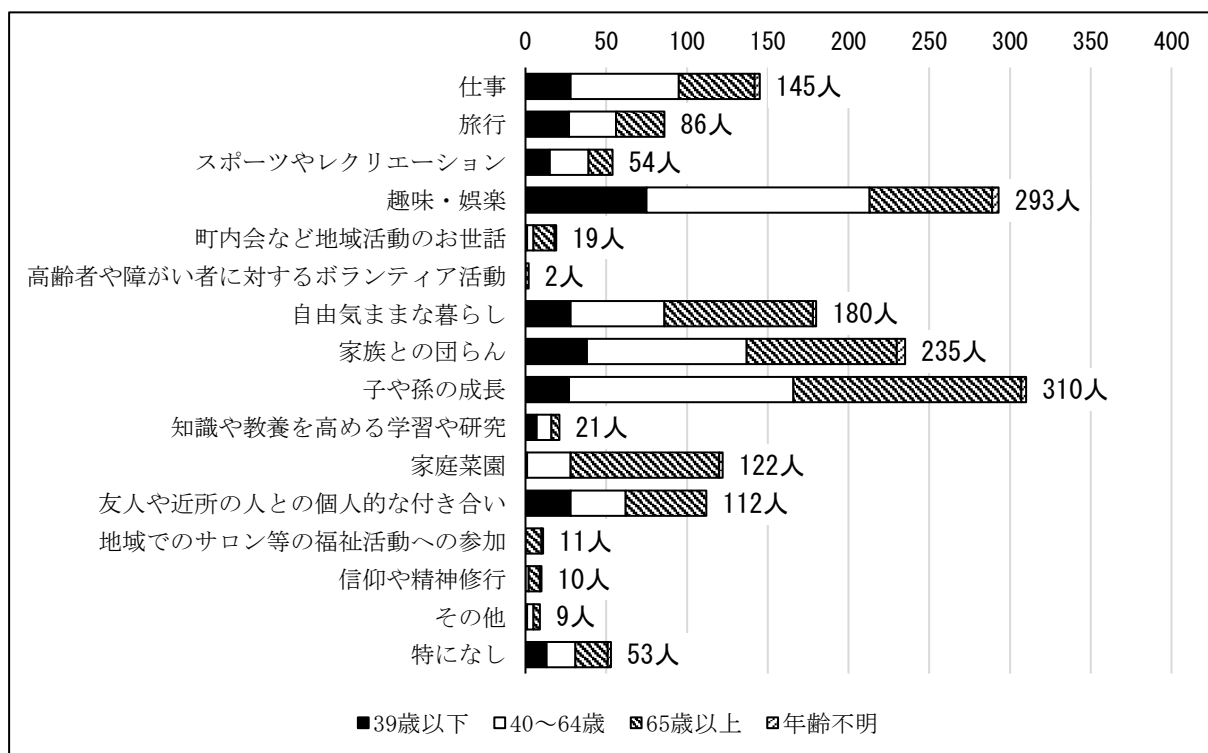
問8 【問7】で回答されたもののうち特にお困りのことや悩みごと上位3つについて、困っていることの番号と現在の対応状況や要望をご記入ください。

不動産の管理に関する『田畑や山林の管理』が最も多く 257 人、『家屋の維持管理』も 149 人と多くなっています。問8の回答では、この2つに限らず「現在は出来ているが将来が不安」という意見が多く見られました。後継者がおらず高齢化し人口も減り続けていることに不安を抱いている人が多いことが感じられます。

2番目に多いのが『病院や診療所が遠い』で、『交通の便が悪い』、『買い物が不便』と続きます。これらは、伊野地区が街中から離れた位置にあることが原因の一つと考えられます。問8の回答では、「車が運転できなくなったら困る」という意見が多く見られました。

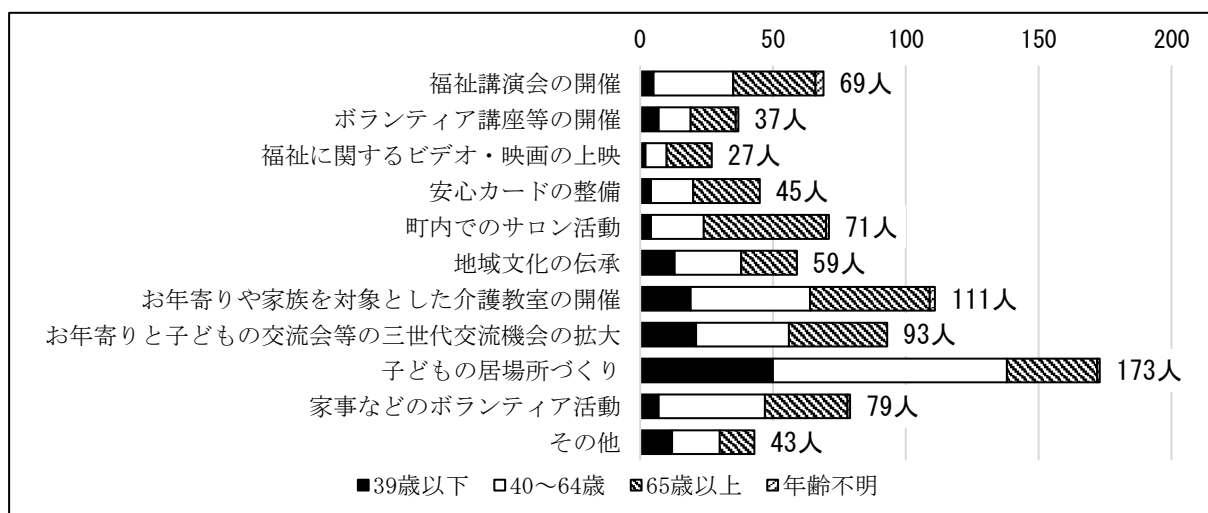
また、『町内の奉仕や行事への参加』が135人と少なくありません。自治協会、各町内において、役員の選出方法や行事の開催等について検討していく必要があると思います。

問9 あなたの生きがいは何ですか。(3つまで)



年代によって多少異なりますが、『子や孫の成長』、『趣味・娯楽』、『家族との団らん』が多くを占めています。65歳以上の方では、『家庭菜園』を生きがいとして上げている方が多くいらっしゃいます。「伊野いち」の影響もあるかもしれません。

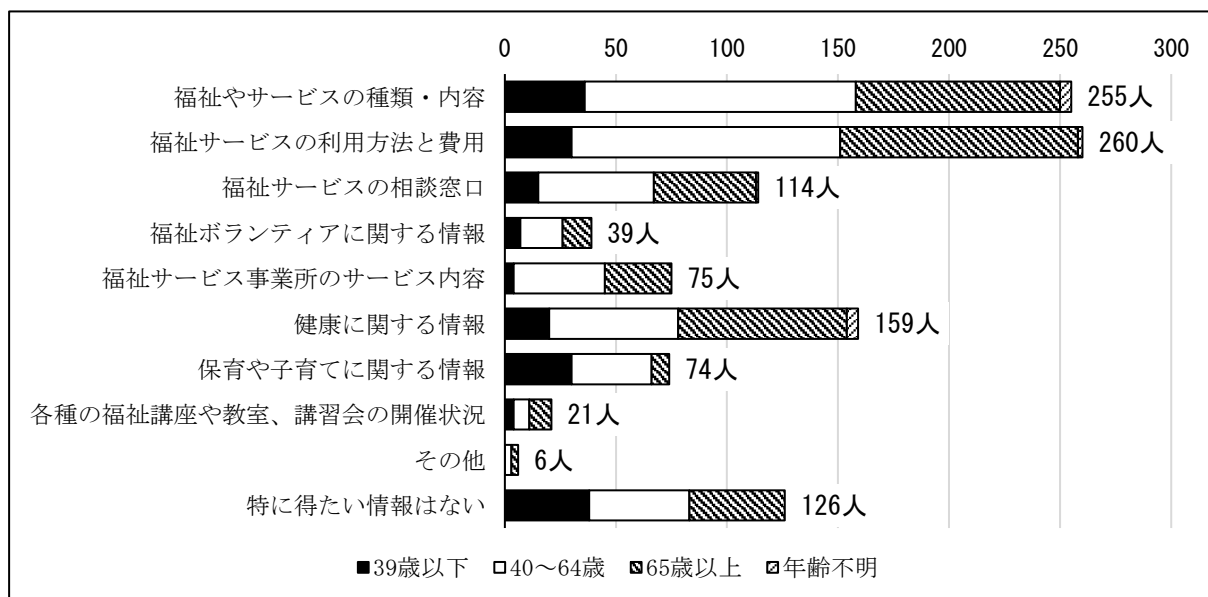
問10 これから「福祉の町づくり」をするために、伊野地区ではどのようなことに取り組むことが必要だと考えますか。(いくつでも)



『子どもの居場所づくり』が最も多くなっていますが、65歳以上では、『サロン活動』が最も多くなっています。続いて『介護教室の開催』、『三世代交流機会の拡大』、『家事などのボランティア活動』と続きます。

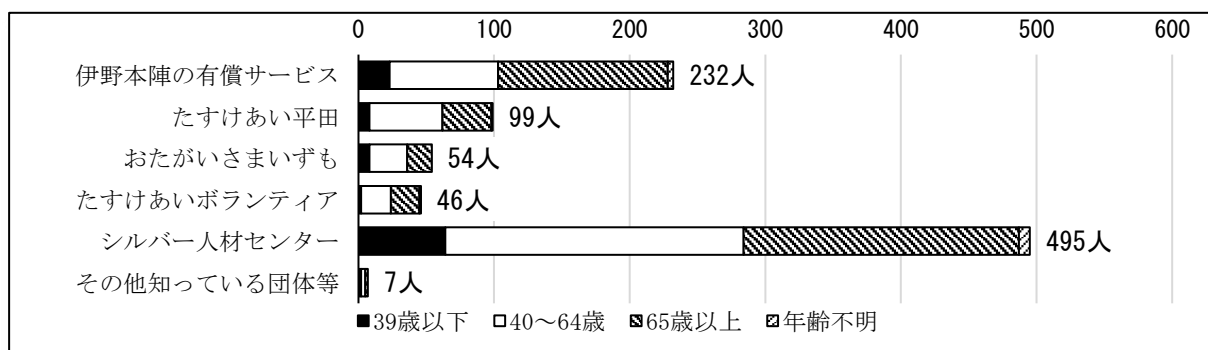
『その他』として「地区単位では難しい」、「他地域とのつながりづくり」といった意見もありました。

### 問11 あなたは福祉に関してどのような情報を得たいですか。(いくつでも)



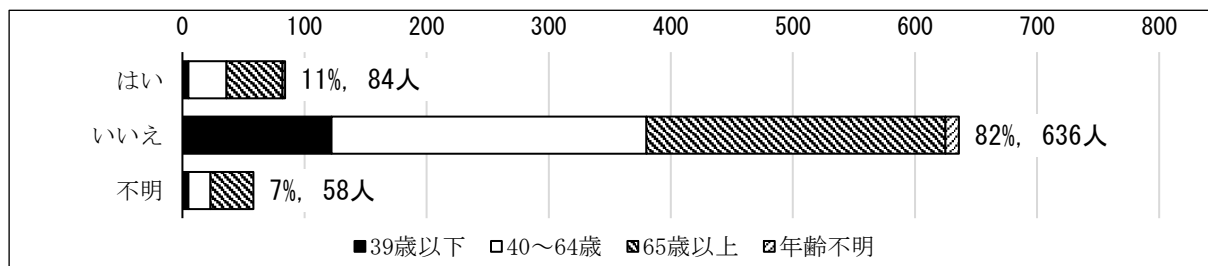
全回答者の約3割の方が、『福祉やサービスの種類・内容』、『福祉サービスの利用方法と費用』の情報を得たいと回答されています。次いで『健康に関する情報』と続きます。今後も適切な情報提供に努めていく必要があります。

### 問12 次のたすけあい活動団体等であなたが知っているものはどれですか。(いくつでも)

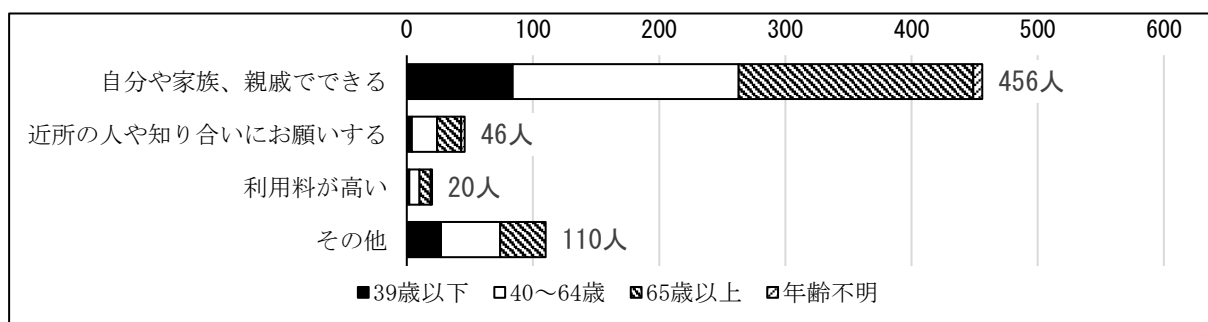


シルバー人材センターは多くの方が知っておられますが、その他のたすけあい活動団体はあまり知られていないようです。

問13 あなたはたすけあい活動団体等を利用したことがありますか。(いずれか1つ)



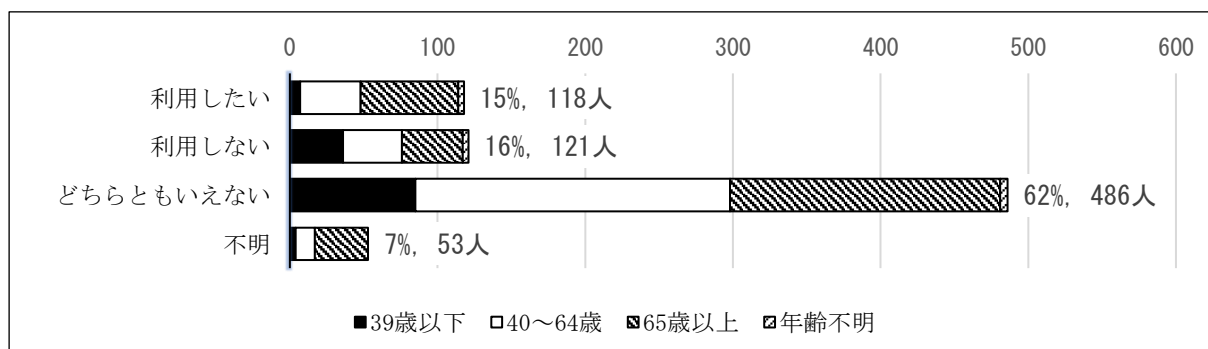
問14 【問13】で「2.いいえ」と回答された方にお聞きします。なぜ利用していませんか。(いくつでも)



利用したことがある方は11%（84人）と余り多くはありません。問12の結果から、利用したことがあると回答した方の多くがシルバー人材センターの利用ではないかと推測されます。

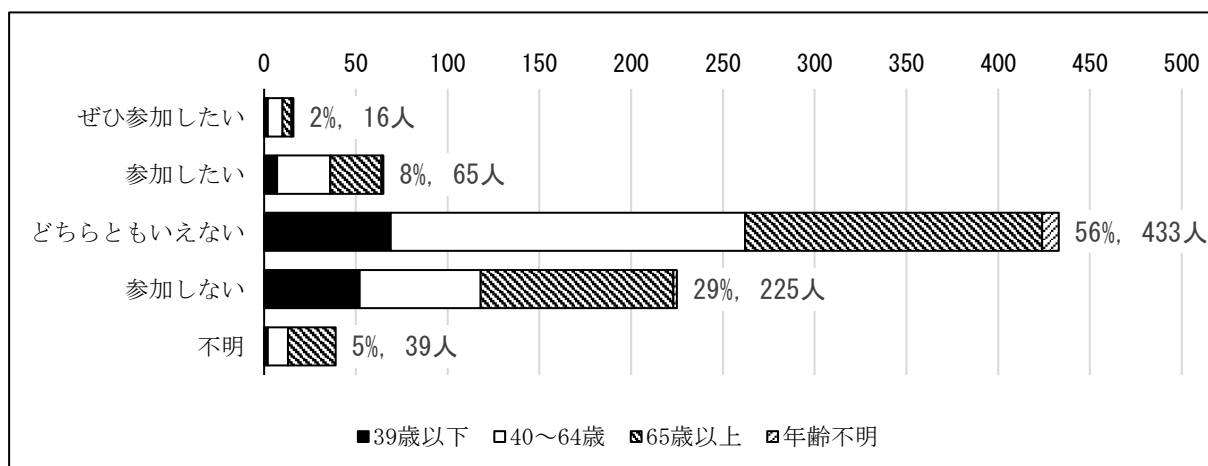
多くの方が自分や家族で対応されているようです。問14の『その他』は、多くの方が「今は必要ない」、「まだ自分でできるから」という回答で、『自分や家族、親戚でできる』の回答と同等と考えられます。一方、「知らなかった」という回答も数件あり、情報提供の必要性を感じました。

問15 あなたは伊野にボランティア組織があったら利用したいですか。(いずれか1つ)



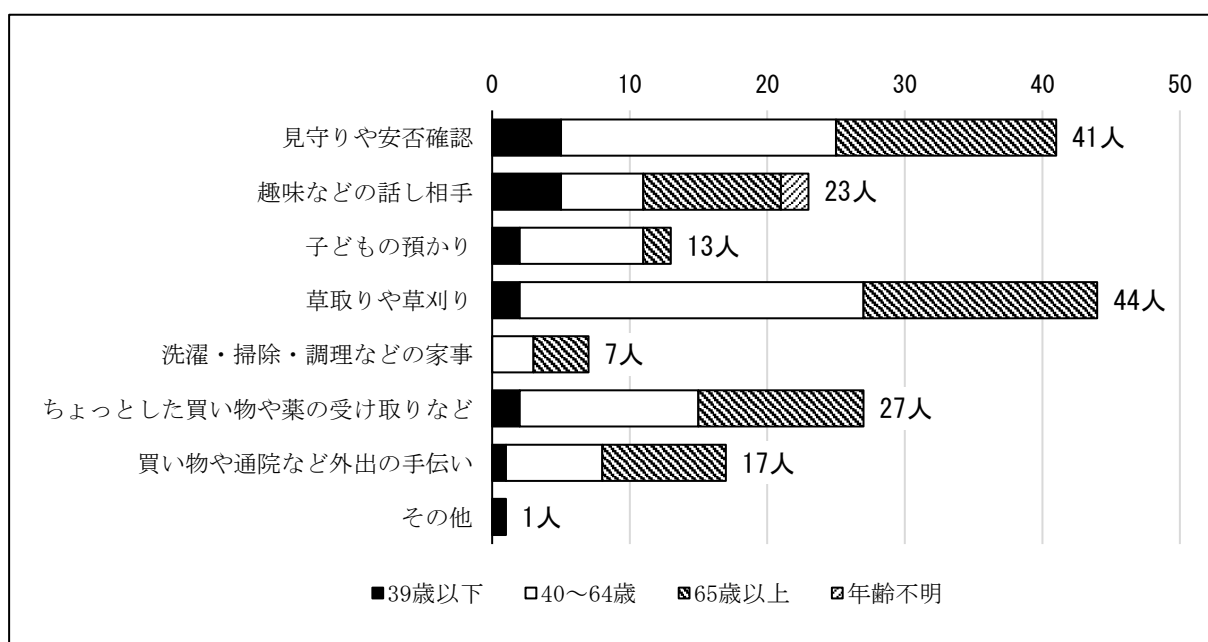
『どちらともいえない』と回答された方が62%（486人）でした。これは、前設問の結果から、今は必要ないが将来には不安があることの表れではないでしょうか。『利用したい』と回答された方が15%（118人）と少なくなく、身近で気軽に頼める組織を期待されているのではないのでしょうか。

**問16 あなたは伊野にボランティア組織があったらボランティアとして参加しますか。（いずれか1つ）**



『ぜひ参加したい』が2%（16人）、『参加したい』が8%（65人）で、合わせて81人の方がボランティアとして参加したいと回答されました。

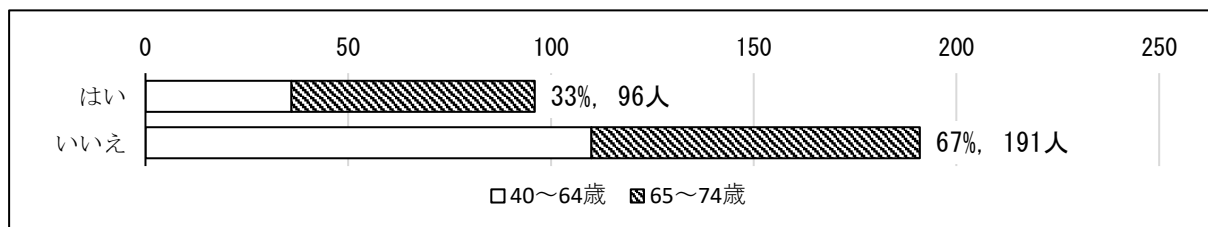
**問17 【問16】で「1.ぜひ参加したい」、「2.参加したい」と回答された方にお聞きします。あなたが参加できると思うものは何ですか。（いくつでも）**



『草取りや草刈り』が最も多くなっていますが、問8の困っていることで草刈りを

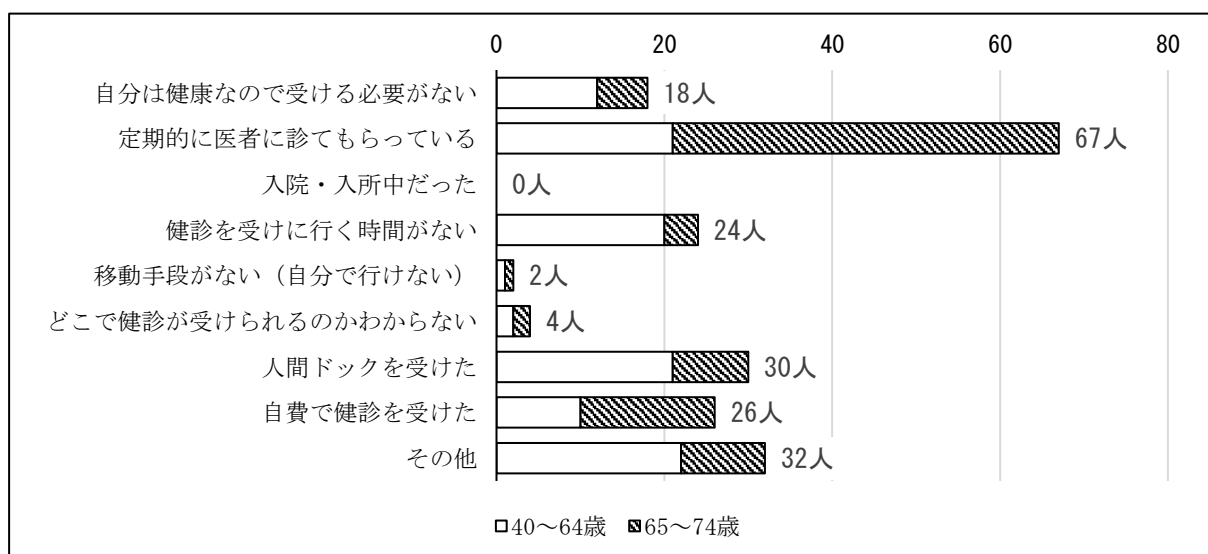
上げている方が多く、需要に合った結果となりました。他の項目にも一定の人数が確保できる結果となっています。

**問18 40歳から74歳までの国保加入の方にお聞きします。あなたは昨年度、市から送られた健康診断の受診券を使って健診を受けましたか。(いずれか1つ)**



無料で受診できる特定健診を受診された方が33%（96人）となっています。市の令和3年度の集計では、伊野地区の受診率は29.9%と市内で最も受診率が低い地区でした（受診率が一番高かったのは鳶巣地区で56.3%、市平均は43.9%）。

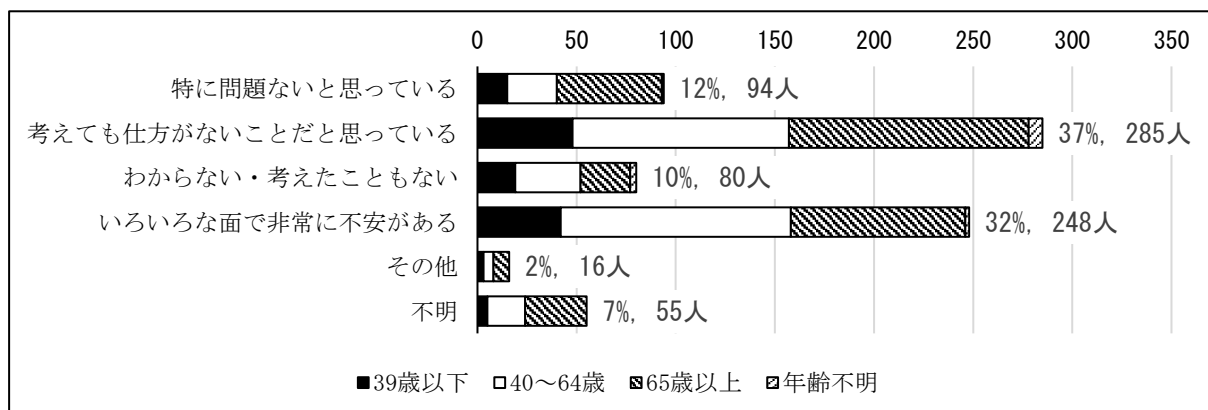
**問19 【問18】で「2.いいえ」と回答された方にお聞きします。受診されなかった理由は何ですか。(いくつでも)**



受診されなかった191の方にその理由を聞いたところ『定期的に医者に診てもらっている』が最も多く67人でした。『人間ドックを受けた』、『自費で健診を受けた』と回答された方も多く、これらを含めた受診率は低くはありません。しかし、健診を受けていない方も一定数いらっしゃることから、今後も健診の必要性について伝えていく必要があります。

2番目に多い『その他』の回答を見ると32人中21人が「職場で受けた」と回答されており、国保加入者以外の方が回答されているものがあるかもしれません。

問 2 0 あなたは自分の将来について不安がありますか。(いずれか1つ)



『いろいろな面で非常に不安がある』と回答された方が 32% (248 人) と多くなっています。これは、前回結果の 25% に対し 7 ポイント増加しています。若い世代でも多くの方が将来に不安を持っている結果となりました。

問 2 1 今後、伊野地区で行う福祉活動に関してご意見・要望などございましたらご自由に記入願います。

- ・ 無料の食事サービス
- ・ 今後、高齢化が進む伊野地区で若い人が残りたいと思えるような環境を考えるべきだと思う。
- ・ 何かきちんとした組織、事務局のある組織があればと思う。
- ・ いずれ運転免許返納する時期が来ますが、伊野からではすべてにアクセスが悪いので、その対応方法を何とかできないもののでしょうか。
- ・ 小学校が朝陽と一緒になれたら良いと思う。
- ・ 障がい者でたくさんの方が集まるのが苦手な人のために、少人数でも避難できる場所が欲しいです。
- ・ このアンケートを基に「たすけ合い活動」のできる組織ができたら良いと思う。
- ・ 買物、通院、薬の受け取りなど有償サービスが駄目な時などにボランティアでなくて有償で安心してお願いできる方が何人かいらっしやると良いと思います。
- ・ 若い人々の連帯が見られない。集う時間や場所が少なすぎる。機会を考えてもいいのでは。
- ・ お年寄り以外にも仕事等で忙しい家庭や家事苦手な家庭の助け合いあるといいと思います。
- ・ 最近の伊野の活動は素晴らしい。今後も頑張ってもらいたい。



- ・ 伊野小学校も合併して欲しかった。年寄りの意見ではなく子育て世代の意見を聞くべき。
- ・ 病気や障がいなどを予防することも大切だと思う。後のことをいろいろ考えるより、特に病気は早期発見、早期治療につなげるにはどうすればよいかを考えて欲しい。
- ・ 児童館がもう少し色々な人が利用し、誰でも行ける利用する場所にして欲しい。
- ・ 福祉サービス等があっても分からない人が多いので、福祉サービスの種類や内容等の周知が必要だと思います。

※ いただいた意見・要望の一部を掲載させていただいていますのでご了承ください。多数の貴重なご意見ありがとうございました。



健康体操



敬老会



ふれあい運動会



しめ縄づくり

## 4. 基本目標と具体計画

### (1) 基本目標

『支えあい 心かよわす 伊野の郷』をキャッチフレーズに下記4点を基本目標とします。

- ① 福祉に関する意識、理解を高める
- ② 高齢者の健康で安心な生活を支援する
- ③ 学校、家庭などと共に子どもを健やかに育てる
- ④ 特別な支援を必要とする人を支援する

### (2) 具体的な活動

- ① 福祉に関する意識、理解を高める
  - ・ 福祉講演会の開催
  - ・ 福祉研修会の開催
  - ・ ボランティア講座の開催
  - ・ 介護教室の開催
  - ・ 福祉施設の訪問
  - ・ 広報活動の実施
  - ・ 住民意識調査の実施
- ② 高齢者の健康で安心な生活を支援する
  - ・ 健康教室の開催
  - ・ ふれあい運動会の開催
  - ・ サロン活動の実施と推進
  - ・ 高齢者クラブ活動の支援
  - ・ 敬老会の開催
  - ・ こみカフェの開催
- ③ 学校、家庭などと共に子どもを健やかに育てる
  - ・ 三世代交流の実施
  - ・ ふれあい運動会の開催
  - ・ 遊び場助成
  - ・ 地域文化の伝承
  - ・ 子育て支援
- ④ 特別な支援を必要とする人を支援する
  - ・ 福祉マップ作成と見守り活動の実施
  - ・ 安心カードの整備
  - ・ 歳末助け合い活動の実施

5. 年次活動計画表

～ 支えあい 心かよわす 伊野の郷 ～

基本目標	活動名	具体的な内容	年次計画					実施団体／協力団体
			R5	R6	R7	R8	R9	
1. 福祉に関する意識、理解を高める	福祉講演会の開催	住民の福祉に対する関心と活動への理解を高めるため講演会を開催する	○	○	○	○	○	伊野地区社会福祉協議会 自治協会 高齢者クラブ連合会
	福祉研修会の開催	福祉委員、社協理事、民生委員児童委員による福祉研修会を実施する	○	○	○	○	○	伊野地区社会福祉協議会
	ボランティア講座の開催	ボランティア活動について認識を高めるとともに地区内の活動体制や方法を検討する	○	○	○	○	○	伊野地区社会福祉協議会 高齢者クラブ連合会 各町内サロン やっつて未来こい！ネット
	介護教室の開催	介護への理解と関心を高めるとともに介護技術習得のための教室を開催する	○	○	○	○	○	伊野地区社会福祉協議会 自治協会 高齢者クラブ連合会
	福祉施設の訪問	福祉施設を訪問し、福祉サービスについて理解を深める	○	○	○	○	○	伊野地区社会福祉協議会 民生委員児童委員協議会
	広報活動の実施	社協日より、ホームページ等により福祉活動の紹介、福祉に関する情報提供を行う	○	○	○	○	○	伊野地区社会福祉協議会 やっつて未来こい！ネット
	住民意識調査の実施	地区民の福祉についての意識調査を実施する						伊野地区社会福祉協議会

基本目標	活動名	具体的な内容	年次計画					実施団体／協力団体
			R5	R6	R7	R8	R9	
2. 高齢者の健康で安心な生活を支援する	健康教室の開催	高齢者を対象に、健康体操や講話を実施する	○	○	○	○	○	高齢者クラブ連合会 各町内サロン
	ふれあい運動会の開催	高齢者と小学校低学年が交流してミニ運動会を実施する	○	○	○	○	○	高齢者クラブ連合会 伊野小学校 伊野地区社会福祉協議会
	サロン活動の実施と推進	小地域で定期的に集まり交流を図る 全町内での設置を推進する	○	○	○	○	○	伊野地区社会福祉協議会 各町内サロン
	高齢者クラブ活動の支援	高齢者クラブが行う研修、事業のサポート及び助成	○	○	○	○	○	伊野地区社会福祉協議会
	敬老会の開催	地区全体の高齢者が集い交流を図る	○	○	○	○	○	伊野地区社会福祉協議会 自治協会
	こみカフェの開催	高齢者が気軽に集まりお茶を飲みながら談笑ができる場所を提供する	○	○	○	○	○	伊野コミュニケーションセンター
	三世代交流の実施	高齢者と親子を対象に世代間交流事業を実施する	○	○	○	○	○	伊野地区社会福祉協議会 伊野コミュニケーションセンター
	ふれあい運動会の開催	高齢者と小学校低学年が交流してミニ運動会を実施する	○	○	○	○	○	高齢者クラブ連合会 伊野小学校 伊野地区社会福祉協議会
	遊び場助成	町内遊園地の新設、修繕に対する助成	○	○	○	○	○	伊野地区社会福祉協議会
	地域文化の伝承	地域に残る伝統文化を継承し、後世に残す活動を実施する	○	○	○	○	○	伊野地区社会福祉協議会 伊野コミュニケーションセンター 民生委員児童委員協議会 更生保護女性会
3. 学校、家庭などと共に子どもを健やかに育てる								

基本目標	活動名	具体的な内容	年次計画					実施団体／協力団体
			R5	R6	R7	R8	R9	
4. 特別な支援を必要とする人を支援する	子育て支援	子どもの居場所の確保、子育てに関する相談に応じる	○	○	○	○	○	伊野児童館 伊野コミュニティセンター やって未来こい！ネット 自治協会
	福祉マップ作成と見守り活動の実施	1 人暮らしや要介護者情報を地図に書き込み見守り活動を行う	○	○	○	○	○	伊野地区社会福祉協議会 民生委員児童委員協議会 自治協会（福祉委員）
	安心カードの整備	緊急連絡先、かかりつけ医や持病等の緊急時に必要な情報を記載したカードを作成する	○	○	○	○	○	伊野地区社会福祉協議会 民生委員児童委員協議会 自治協会
	歳末助け合い活動の実施	70歳以上の高齢者のみ世帯や寝たきり世帯などを対象に慰問活動をする	○	○	○	○	○	伊野地区社会福祉協議会 民生委員児童委員協議会

## 6. 福祉活動計画策定の経過

開催年月日	内 容	
令和 3年12月 7日	第1回策定委員会	スケジュール説明、アンケート見直し、 幹事会設置
令和 3年12月22日	幹事会	アンケート内容検討
令和 4年 2月22日	第2回策定委員会	アンケート内容検討・決定
令和 2年 2月24日	福祉委員会	福祉活動計画策定について説明、 アンケート配布・回収への協力依頼
令和 4年 4月	アンケート実施	地区住民へのアンケート実施
令和 4年5月～6月	アンケート集計	アンケート集計・分析
令和 4年 7月29日	幹事会	アンケート結果分析
令和 4年 8月 8日	幹事会	アンケート結果分析
令和 4年10月26日	幹事会	基本目標・活動計画検討
令和 4年11月25日	第3回策定委員会	福祉活動計画内容確認
令和 5年 3月 3日	社協理事会	福祉活動計画承認
令和 5年 3月19日	社協委員会	福祉活動計画決定

## 7. 福祉活動計画策定委員名簿

(敬称略・順不同)

地区役職名	氏 名	地区役職名	氏 名
社会福祉協議会会長	○ 岩 成 正 美	民生委員児童委員	池 尻 文 子
コミュニティセンターセンター長	○ 福 田 英 治	主任児童委員	竹 内 良 子
民生委員児童委員協議会会長	○ 松 本 剛 美	や <sup>み</sup> って未来こい!ネット事務局長	多 久 和 祥 司
自 治 協 会 会 長	錦 織 宏	〃 福祉医療暮らし部会部長	○ 山 崎 功
前自治協会副会長	山 崎 諭	〃 福祉医療暮らし部会部員	兼 折 太 郎
自 治 協 会 副 会 長	多 久 和 耕 二	伊 野 本 陣 施 設 長	増 原 智 子
伊 野 小 学 校 校 長	三 原 國 彦	コミュニティセンターマネジャー(社協担当)	○ 常 松 よ し 子
高齢者クラブ連合会会長	○ 山 崎 義 興	(アドバイザー)	
民生委員児童委員	山 崎 敏 美	市社会福祉協議会平田支所課長補佐	川 本 義 昭

○は幹事会メンバー

## 第4次伊野地区福祉活動計画

発行日 令和5年3月31日

発行者 伊野地区社会福祉協議会

〒691-0072 出雲市野郷町 492-5

TEL (0853)69-1526

FAX (0853)69-1530

